

平成 24 年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 25 年 3 月

(2013 年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)

例 言

1. 本書は、金沢市都市政策局歴史文化部文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 24 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 24 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。

目 次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	27
3. 教育・普及・啓発活動事業	34
4. 組織	39

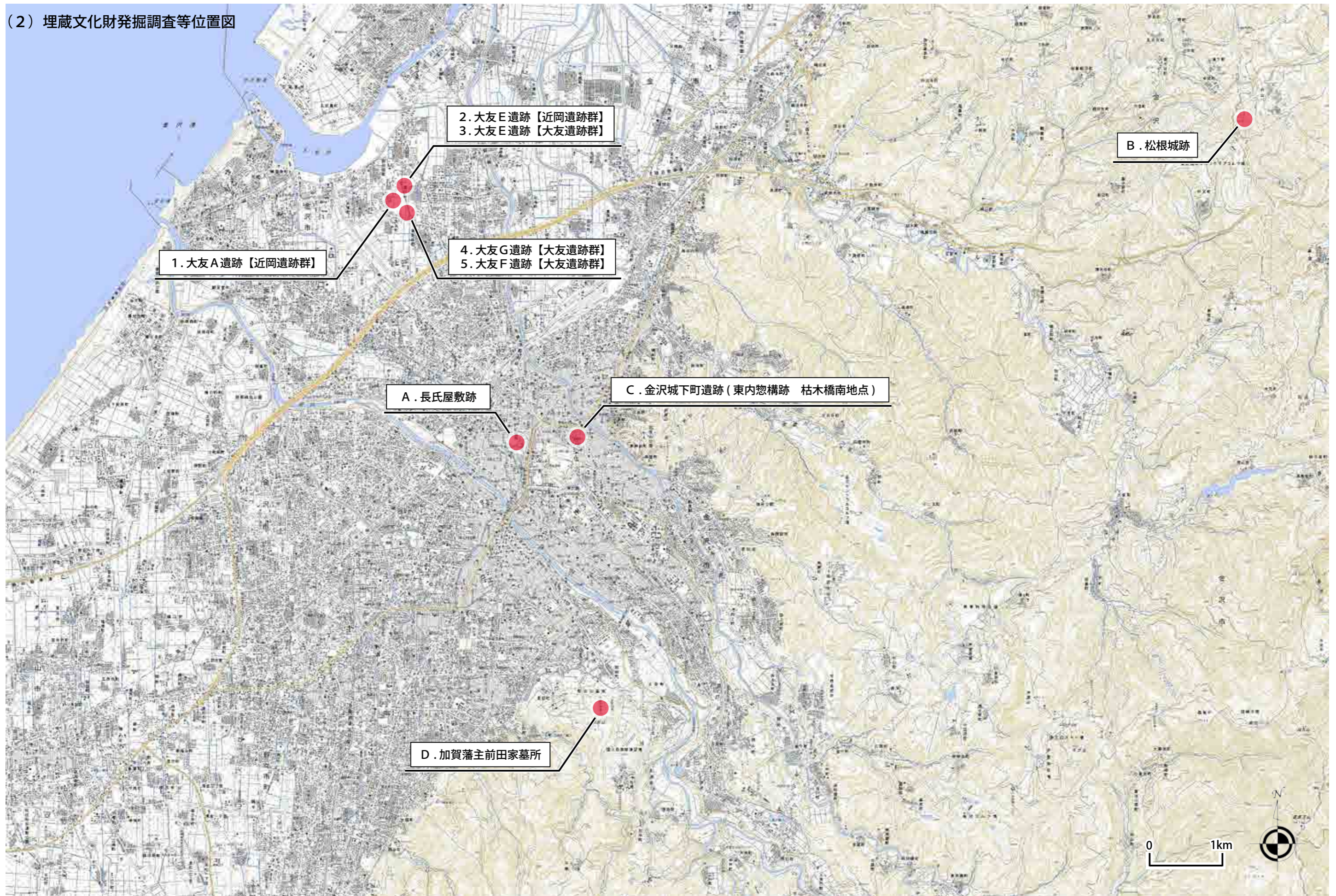
1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
おおも 大友A遺跡【近岡遺跡群】										
1	金沢市 近岡町地内	570㎡	道路建設 (民間)	20120501 ～ 20120824	沖積地	23,939 (2と合算)	3箱	弥生 古墳 古代 中世	ピット 土坑 溝	弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 石製品
おおも 大友E遺跡【近岡遺跡群】										
2	金沢市 近岡町地内	1,680㎡	道路建設 (公共)	20120502 ～ 20120824	沖積地	23,939 (1と合算)	50箱	縄文 弥生 古墳 古代 中世	掘立柱建物 ピット 土坑 溝 川	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 石製品 木製品
おおも 大友E遺跡【大友遺跡群】										
3	金沢市 大友町二・近岡町地内	4,202㎡	区画整理 (民間)	20120516 ～ 20120927	沖積地	47,150 (4・5と合算)	138箱	弥生 古墳 平安 中世	掘立柱建物 土坑 方形周溝墓 井戸 竪穴建物 川 区画溝	弥生土器 土師器 須恵器 墨書土器 石製品 木製品 皇朝銭 烏帽子 石帯
おおも 大友G遺跡【大友遺跡群】										
4	金沢市 大友町二地内	152㎡	区画整理 (民間)	20121017 ～ 20121026	沖積地	47,150 (3・5と合算)	1箱	古墳 古代	ピット 溝	須恵器 土師器 木製品
おおも 大友F遺跡【大友遺跡群】										
5	金沢市 大友町二地内	1,115㎡	区画整理 (民間)	20121029 ～ 20130131	沖積地	47,150 (3・4と合算)	28箱	弥生 古墳 古代 中世	掘立柱建物 ピット 土坑 溝 川	土師器 須恵器 石製品 木製品 玉類未成品

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
学術調査										
ちょうしやしきあと 長氏屋敷跡										
A	金沢市 玉川町地内	30㎡	学術調査 (公共)	20120606 ～ 20120720	扇状地	1,894	3箱	近世 近代	近世：硬化面 近代：柱穴	陶磁器
まつねじょうあと 松根城跡										
B	金沢市 松根町・竹又町地内	135㎡	学術調査 (公共)	20121003 ～ 20121206	丘陵	6,476	1箱	中世	礎石建物 ピット 堀 古道	土師器 陶器 金属製品
かなざわじょうかまち ひがしうちろうがまえあと かねきぼしみなみちてん 金沢城下町遺跡 (東内惣構跡 枯木橋南地点) ※史跡整備に伴う発掘調査										
C	金沢市 尾張町1丁目地内	10㎡	学術調査 (公共)	20121120 ～ 20121220	扇状地	1,612	2箱	近世	惣構跡	陶磁器 土製品 瓦 石製品 金属製品
か がほんしゆまえだけぼしよ 加賀藩主前田家墓所 ※史跡整備に伴う発掘調査										
D	金沢市 野田町野田山地内	20㎡	学術調査 (公共)	20130322 ～ 20130328	丘陵	650	3点	近世	土居 堀	磁器 灯明皿 土人形

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



(3) 埋蔵文化財発掘調査概要

1. 大友A遺跡【近岡遺跡群】

(遺跡番号 県：01295 市：042N・H)

所在地：金沢市近岡町地内

北緯 36° 36′ 16″

東経 136° 37′ 46″

調査面積：570㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、古代、中世

担当：向井 主任主事



■ 遺跡の概要

大友A遺跡は金沢市の北西部、大野川河口に所在する金沢港から約1km内陸に入った場所に位置する。周辺には大友D、E、Fの各遺跡が広がっている。

調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、道路敷き部分について実施したもので、隣接地では区画整理に伴う調査も行われている。

平安時代の併走する溝を検出しており、道路状遺構の可能性が考えられる。ただし、地山中での検出であり、路盤構造は不明である。その他は目立った遺構はみられず、遺跡縁辺の状況を示しているものと考えられる。なお、地山中に埋没した自然木を検出している。



l b区全景（上方が並走する溝）



並走する溝（道路状遺構か）



l a区完掘状況

2. 大友E遺跡【近岡遺跡群】

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所在地：金沢市近岡町地内

北緯 36° 36' 23"

東経 136° 37' 51"

調査面積：1,680㎡

種別：集落跡

主な時代：縄文、弥生、古墳、古代、中世

担当：向井主任主事



■ 遺跡の概要

大友E遺跡は金沢市の北西部、大野川河口に所在する金沢港から約1km陸に入った場所に位置する。周辺には大友A、F遺跡や直江西、ニシヤ遺跡など広がっている。

調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、道路敷き部分と仮設水路造成部分について実施している。なお、隣接地では区画整理に伴う調査も行われている。

本遺跡は、金沢市副都心北部大友土地区画整理事業に伴う試掘調査によって、平成20年に大友町地内で発見されたが、今回の道路工事に伴う試掘調査によって、近岡町地内にも遺跡が広がっていることが確認された。これまでに、縄文時代から室町時代の遺跡であることがわかっている。

縄文時代晩期後半以降の遺構や遺物が確認されているが、主なものとして、弥生時代、古墳時代、平安時代の調査成果について概略を述べる。

弥生時代では、終末期前後の川の一部が検出された。大半が近代の川により失われているが、西岸部分を検出している。岸からは多くの土器が集中して出土している。

古墳時代では、前期を中心とする掘立柱建物や土坑、素掘りの井戸、溝、川を検出しており、土師器などが出土している。昨年度調査で出土した玉製品や中後期の須恵器はあまり出土しなかった。川からは土師器の他、台状木製品や鋤などの木製品が出土している。

平安時代では、9世紀を中心とした遺物が出土する川が見つかった。「京」墨書土器や木製盤、呪符木簡、人形などが出土している。



弥生時代の川 土器出土状況



古墳時代の掘立柱建物



古墳時代の井戸 土器出土状況



古墳時代の土坑 土器出土状況



古墳時代の土坑 土器出土状況



古墳時代の井戸 土器出土状況



古墳時代の川 鋤等出土状況



平安時代の川



平安時代の川 木製盤出土状況



平安時代の川 呪符木筒出土状況

3. 大友E遺跡【大友遺跡群】

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所在地：金沢市大友町二、近岡町地内

北緯 36° 36′ 16″

東経 136° 37′ 51″

調査面積：4,202㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、古代、中世

担当：景山主査 前田主任主事 新出主任主事



■ 遺跡の概要

大友E遺跡は、金沢市副都心北部大友区画整理事業に伴い平成20年3月に発見された、弥生～中世の遺跡である。区画整理事業地内にはこのほかにも大友A、D、F、Gの各遺跡が存在しており、これら5つの遺跡を総称して、【大友遺跡群】と呼んでいる。

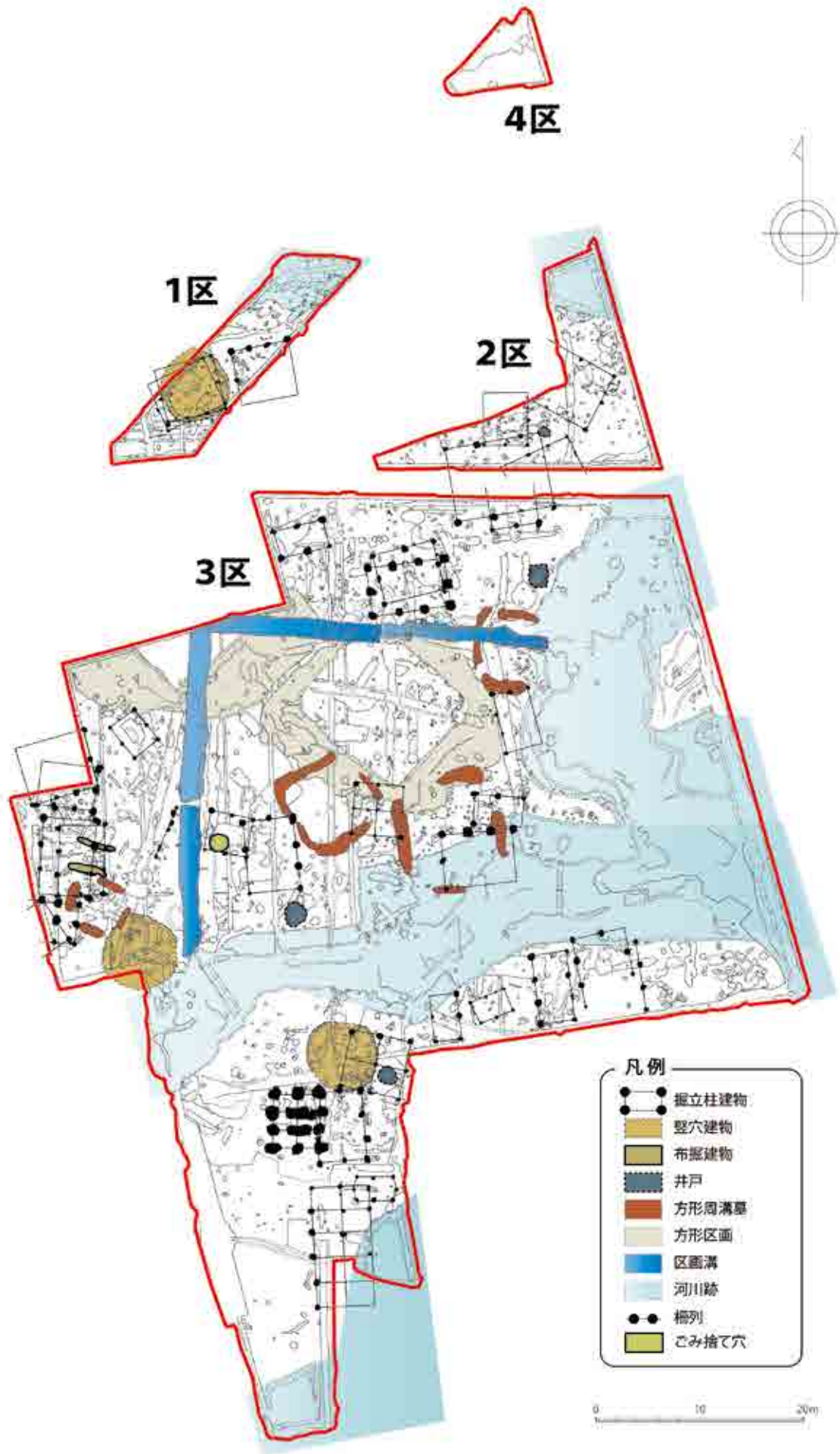
発掘調査では弥生時代～中世にかけての遺構が確認されている。弥生時代では、竪穴建物3棟と方形周溝墓4基が検出された。竪穴建物のうち2棟は削平を受けており、壁溝のみの検出となったが、検出された3棟はいずれも同規模で、直径およそ8mの円形を呈する。方形周溝墓の規模は統一されたものではなく、内法で約4m～8mを測り、主軸もまちまちである。

古墳時代では、掘立柱建物と定量の土器の出土がみられた。一辺約12mを測る方形区画が2箇所検出されたが、その性格については今後の検討を要する。

奈良・平安時代は遺構・遺物の出土量ともにこの遺跡のメインとなる時期である。1辺30m以上、内側の岸が粘土で整形された区画溝や、約1mの方形掘方を持つ2×3間の掘立柱建物、縦板組枠・曲物転用枠の井戸などがあり、1区川跡(SD1001)から石帯が、3区川跡(SD3002)から朱墨書土器「大」2点を含む大量の墨書土器が発見された。川跡から出土した墨書土器の文字は「諸」「坂井」「真」「案主カ」「稲依」「持女」「西」「新」「田舎」など多様で、「井」「依」が特に多く見受けられる。ほかにも人形や曲物、弓などの木製品、神功開寶(皇朝銭)、貝殻、動物の骨、網代など、多種多様なものが出土している。この川跡は同年11月より発掘調査を行った、本遺跡から南へ約300mの位置にある大友F遺跡でも検出されており、大友E遺跡調査時には確認できなかったが、古墳時代の川と古代の川がほぼ同じ流路で重なり合っており、下層からは古墳時代の須恵器・土師器も多く出土した。川跡には流路に沿って杭が打ち込まれており、護岸などの目的が考えられる。そのほか、遺跡の南部分には2×3間の総柱建物(倉庫か)、2間以上×5間の掘立柱建物がある。これらのことから、当時この川は水運に利用されていたと考えられ、石帯や皇朝銭、大量の墨書土器などの存在から、公的な性格をもった施設ではないかと推測している。

鎌倉・室町時代では、溝の中から烏帽子が出土している。2区にて総柱建物と曲物転用枠の井戸が検出されているが、当該期における遺跡の性格については今後の検討が必要である。

今後は遺物整理作業をとおしての知見を交え、遺跡の性格について本格的な検討を行いたい。調査報告書は平成26年度からの刊行を予定している。



大友E遺跡遺構概略図



調査区全景（3区 南西から）



古墳時代の掘立柱建物（1区 北東から）



竪穴建物（1区 西から）



井戸（2区 南から）



平安時代の掘立柱建物（3区 北東から）



平安時代の総柱建物（3区 北東から）



方形周溝墓（3区 北東から）



区画溝（3区 南から）



平安時代の井戸（3区 南から）



弥生時代の土器廃棄土坑



平安時代の川 土器等出土状況



平安時代の川 神功開寶出土状況

4. ^{おおとも}大友G遺跡【^{おおともいせきぐん}大友遺跡群】

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所在地：金沢市大友町二地内

北緯 36° 36' 10"

東経 136° 37' 49"

調査面積：152㎡

種別：集落跡

主な時代：古墳、古代

担当：景山 主査 前田 主任主事



■ 遺跡の概要

平成24年度の大友G遺跡の発掘調査は、平成23年度調査区に北接した調査区で実施した。主な遺構として古墳時代前期の溝1条、平安時代の溝1条が検出されており、これらは平成23年度調査で確認した溝の延長にあたる。古墳時代の溝の底面では湧水があり、底近くの砂層から棒状の木製品が出土した。柱穴らしき小穴もいくつか検出されたが、明確な建物像は不明となっている。

全体的には遺跡の縁辺部の様相を示しており、同じ区画整理区域内に存在する大友A遺跡との関連も視野に入れて検討していく必要があるといえよう。



調査区全景（東から）



古墳時代の溝 木製品出土状況



同上拡大

5. 大友F遺跡【大友遺跡群】

(遺跡番号 新発見のため番号なし)

所在地：金沢市大友町二地内

北緯 36° 36' 10"

東経 136° 37' 53"

調査面積：1,115㎡

種別：集落跡

主な時代：古墳、古代

担当：景山 主査



■ 遺跡の概要

平成 24 年度の大友 F 遺跡の発掘調査は、街区部分のうち区画整理事業の工事により遺構が損壊するおそれのある範囲について実施した。調査区は平成 22 年度調査区の東側に位置し、調査面積は約 1,115㎡である。

遺構検出面は水田耕作土の直下にあり、およそ 20cm と非常に浅く確認された。過年度調査と同様、昭和における耕地整理に伴って水田の土壌改良を目的とした天地返しが大規模に行われており、遺跡の残存状態は決して良好とはいえなかった。

調査区の東部分、鞍月用水に沿う形で大規模な河川跡が検出された (SD01)。調査区北端では東西方向に別の河川跡 (SD02) が、また、調査区の中央部から南部分にかけて規模の異なる河川跡 (SD03) が検出され、調査区内に 3 本の河川跡が確認された。このうち、SD01・SD03 はその堆積状況・遺物出土状況から、大友 E 遺跡で確認された SD3002 と同一のものと推察される。河川跡の時期はそれぞれの出土遺物から SD01 が古墳時代前期、SD02 が平安時代、SD03 が奈良・平安時代であろう。

SD01 からは古墳時代前期に属する甕や壺、高坏といった土器のほかに緑色凝灰岩の石核・剥片が多く出土した。これは過年度調査でも確認されているもので、大友 F 遺跡がもつ玉づくり遺跡としての性格を補完するものとなる。SD02 からは須恵器の瓶が出土している。この河川跡は平成 23 年度の大友 F 遺跡 2 区で確認された平安時代の河川跡と同一のものである可能性が高い。SD03 は SD01 に重なるようにして存在していたと考えられる。SD01 が廃絶した後時間において機能しはじめた河川跡で、掘方の断面形はきれいな播鉢状になることから、人為的な調整が行われた河川である可能性がある。同時期の遺構と考えられるものに、掘立柱建物 2 棟がある。規模は双方ともに梁行 2 間×桁行 3 間で、主軸を北に採っており、うち 1 棟は SD01 の上に存在していた。このことから、SD01 は奈良時代には完全に機能を停止しており、その後 SD03 と掘立柱建物が展開するということがいえよう。

その他の遺構としては土坑が 14 基、溝が 7 条、竪穴建物 1 棟が検出されている。竪穴建物は壁溝のみの検出となり、出土遺物がないことから時期は不明であるが、SD01 と同時期に展開したのではないかと考えている。

大友 F 遺跡は、過年度に確認された古墳時代前期の区画溝の存在から、当時大きな勢力をもった集落であったと推察され、また、緑色凝灰岩製の未製品と大量の剥片は、同時期の玉類大規模生産拠点としての性格を示しているものと考えられる。



調査区全景（北から）



平安時代の掘立柱建物（北西から）



古墳時代の土坑 土器出土状況（南西から）



古墳時代の川 緑色凝灰岩出土状況（北から）



勾玉出土状況

(4) 学術調査の成果

A. 長氏屋敷跡

(遺跡番号 県：01212 市：なし)

所在地：金沢市玉川町地内

北緯 36° 39′ 08″

東経 136° 39′ 06″

調査面積：30㎡

種別：城下町

主な時代：近世、近代

担当：新出 主任主事



■ 遺跡の概要

金沢市では平成24年6月6日から7月20日の期間、玉川公園内で長氏屋敷跡の発掘調査を行った。江戸時代の長氏屋敷跡長屋門及び長屋跡等、近代の遺構が残存しているか確認するのが目的である。

長氏は加賀八家と呼ばれる、加賀藩前田家の家老を務めた家柄である。八家には長氏の他、奥村宗家、奥村支家、本多家、前田家（直之系）、前田家（長種系）、横山家、村井家がある。

長氏は代々能登守護畠山氏に仕えていたが、天正5年(1577)に上杉謙信が能登に侵攻した際に一族が滅ぼされ、ただ一人生き残った長連龍は天正9年(1581)前田利家の能登入国に伴いその与力となった。

玉川公園は江戸時代には長氏の上屋敷となっていた。明治2年(1869)に版籍奉還が行われると、上屋敷は金沢藩庁となり、明治4年(1871)の廃藩置県後は金沢県庁となったが、翌年金沢県庁は石川郡美川町(現白山市)へ移転した。その後、長氏屋敷跡は金沢区会所、小学校、真宗学問所、前田家の金沢邸と移り変わったが、明治15年(1882)に火災で焼失した。明治44年(1911)に旧日本専売公社(現たばこ産業)金沢地方局の工場が建てられ、昭和48年(1973)に専売公社の赤煉瓦工場取り壊し後は県が取得し、昭和55年(1980)から玉川公園となった。

当初、上屋敷があったと考えられる、玉川公園の中央部及び西側にも遺構確認トレンチを設定していたが、現代の公園造成時の攪乱が多く見受けられ、上屋敷及び近代に関連した遺構は確認できなかった。そこで平成24年度は玉川公園東端の上屋敷跡長屋門及び長屋があったと推定される位置で2箇所遺構確認トレンチを設定した。それぞれの呼称は北トレンチ、南トレンチである。南トレンチは約10㎡で近代のゴミ穴が2基検出された。北トレンチは約20㎡で3期の層位が確認できた。

第1期(17世紀代・江戸時代中頃)

17世紀代の土器を少量含む土層を検出した。この層には炭化物が混入していることから、寛永の大火に関連した層である可能性がある。門より屋敷側に入ったと思われる場所で、小穴を2基確認した。上屋敷は慶長17年(1612)に現在の玉川公園周辺に移転したとされており、この時期の土層ではないかと考えられる。

第2期(19世紀前半～幕末)

第1期の土層の上に礫を混ぜた土を盛土した硬化面が検出され、一部にこぶし大の礫を敷き詰めである場所を確認した。長屋門または長屋の基礎か通路にあたる部分であろうか。

第3期（近代）

19世紀代に埋められたと考えられる、建物の礎石を伴う柱穴を1基検出した。また、専売公社の建物の基礎と考えられる、川原石を敷き詰めた溝を確認した。川原石は一部面取り加工がされているので、長家の長屋に使用していた石を転用している可能性がある。その他、赤煉瓦や硬質陶器等の近代の遺物が多数出土した。

平成25年度にはさらに、長屋門周辺の調査を行い、長氏屋敷跡の調査を進めていく予定である。



寛文8年加賀国金沢之図に見る長氏屋敷跡
(1668年 金沢市立玉川図書館蔵)



長家屋敷絵図（大正5年 四井芦雪写 稿本金沢市史）



専売公社航空写真（北から撮影 玉川図書館蔵）



専売公社建物写真（玉川図書館蔵）



調査地点全景
(北トレンチ 南から撮影)



調査地点全景
(南トレンチ 北から撮影)



北トレンチ遺構平面図

B. 松根城跡 (加越国境城郭群と古道)

(遺跡番号 県：01395 市：111S)

所在地：金沢市松根町・竹又町地内

北緯 36° 36′ 57″

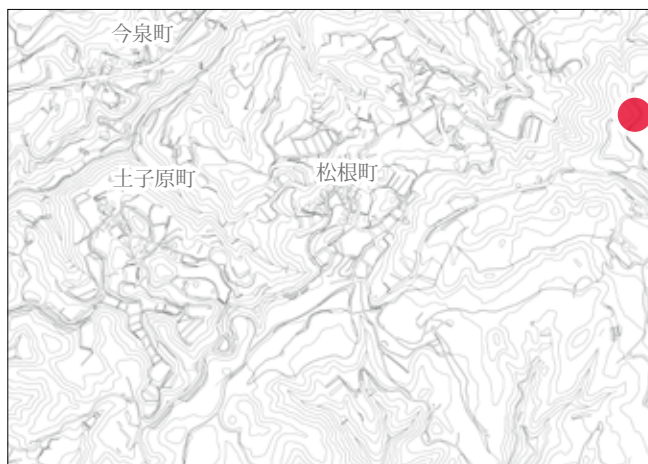
東経 136° 47′ 01″

調査面積：135㎡

種別：城館跡

主な時代：平安、鎌倉、安土・桃山

担当：向井 主任主事



■ 遺跡の概要

加越国境とは旧加賀国と旧越中国の国境を示し、概ね現在の石川県金沢市と富山県小矢部市の県境付近を指している。この国境越えには、北陸道の他にも、複数の短距離で越中へ到達する脇街道と呼ばれる山越え道が利用されており、現在それらは、舗装道路や林道などに姿を変えながらも、多くが当時の道筋を踏襲している。これらの道は中世や近世にも使用されていたと考えられる。

本能寺の変から2年後の天正12年(1584)、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康連合軍が織田信長亡き後の天下統一をめぐる争った「小牧・長久手の戦い」が勃発するが、それに連動して、秀吉方の前田利家と家康方の佐々成政は、加賀と越中の国境付近に対峙することとなり、加越国境付近の街道沿いには多くの山城が築造された。

天正13年8月の羽柴秀吉による越中出陣により佐々成政は降伏したが、この後に越中の西半分が前田利家の長男利長に与えられたことで、加越国境付近の緊張状態は解消され、城郭群は不要になったと考えられる。

加越国境付近の街道沿いに築かれた多くの山城の中でも、代表的な城跡である推定前田方の切山城と推定佐々方の松根城は、天下の覇権抗争の縮図となった利家と成政の対立を物語るもので、両城と共に城が築造される地理的要因となった小原越の実態を明らかにすることで史跡指定を目指している。そして、その戦乱の歴史舞台を未来に伝えることを目的としている。

松根城跡は金沢市松根町、竹又町、小矢部市内山町に所在する。加賀と越中の国境に位置し、砺波丘陵の最も高い尾根筋である標高308mの山頂部を中心に造成されており、加賀平野や砺波平野への眺望が良好である。

松根城跡は、南北440m、東西140mの規模があり、平坦面、切岸、堀切、横堀、土塁、櫓台、虎口、馬出などから構成されている。主郭は南北約30m、東西約30mの不整形な平坦面である。城内に小原越を取り込む、もしくは隣接していることを特徴としていると考えられているが、今回の調査で加賀側に設置された大堀切によって小原越が遮断されていた可能性が指摘できるようになった。現況遺構は16世紀後半と推定されていたが、今回の調査で出土した土器によって確認された。

貞治2年(1363)と応安2年(1369)の古文書に「松根之陣」などが見え、近世の書上帳や地誌類には、源義仲や洲崎兵庫、佐々成政の城と記載されている。

発掘調査は主郭などの虎口や馬出、櫓台、土塁、堀切、大堀切、横堀、小原越で実施している。

遺構は推定建物跡や穴跡、溝跡、盛土跡、岩盤ブロックなどが確認され、遺物は灰釉陶器や土師器皿、珠洲焼、越前焼、鉄釘、金属製品などが出土している。

主郭虎口（A・B）では、盛土やAの門跡付近で岩盤ブロックを確認している。

土橋（C）では薄い整地層を確認しており、地山削り出しによるものであった。

櫓台（D）では盛土を確認し、越前焼甕と不明鉄製品が出土している。櫓の痕跡は見つからなかった。

馬出の上側虎口（E・F）では盛土と土塁部分で穴を確認したが、杭や柱跡かは不明であった。平坦地の門跡付近で岩盤ブロックを確認しており、門の礎石になる可能性がある。E・Fの表土直下で16世紀後葉の土師器皿や珠洲焼甕、越前焼甕、不明鉄製品が出土しており、サブトレンチ内から9世紀後半の灰釉陶器や13・14世紀の土師器皿が出土している。また、推定門位置付近から鉄釘が出土している。

馬出の下側虎口（G）では、帯状に延びる岩盤を確認した。

横堀（H・I・J・M）では、Hで深さ約0.7m、幅約3mの堀底及び切岸を、Iで深さ約1.5m、幅約1.6mの堀底を、Jで深さ約1.7m、幅約2.2m以上の堀底を、Mで深さ2.3m、幅1.9m以上の堀底を確認した。

Mは朝日山城へ至る道とされるが、現在使用されている道は横堀埋没後に使用されていることを確認している。

大堀切（K）では、幅約14m、深さ2.6m以上の堀底及び高さ約2.5m、幅5mの畝状遺構を1基確認した。

小原越（L）では、深さ約0.7mで地盤を確認しており、横堀を小原越に転用した可能性がある。

小原越（N）では、大堀切で途切れる旧小原越を2条確認した。

北端虎口（O）では、土塁盛土や平坦地の盛土を確認したが、門の痕跡は不明であった。

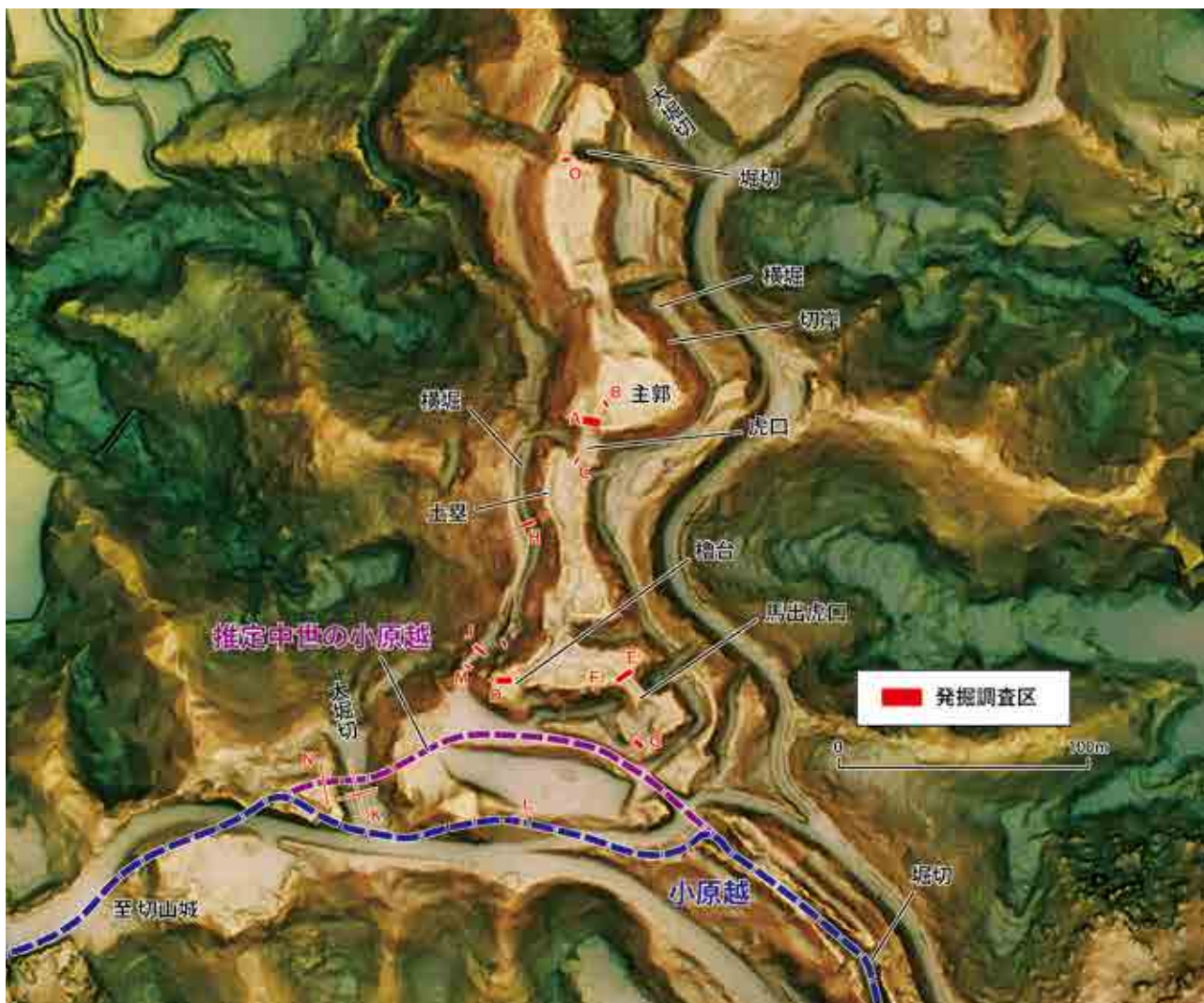
今回の発掘調査によって、推定門跡や小原越跡、堀底、盛土跡などが確認され、16世紀後葉の土師器皿や越前焼甕、珠洲焼甕の他、9世紀頃の灰釉陶器や13～14世紀頃の土師器皿、鉄釘などが出土している。このことによって、複数時期に使用された複合遺跡であることが判明すると共に、現在残る遺構は16世紀後葉のもので、後世の史料に佐々方の城として登場するが、発掘で確認された年代と矛盾していないことが確認できた。

また、旧小原越と考えられる道跡を初めて発掘で確認できた。その道跡は、大堀切で遮断されることから戦国時代末を遡ると考えられる。幅約0.5～1mの道跡を2本確認しており、山城が軍事的に道路を切断したことを初めて確認した事例になる。加賀側からの侵攻を防ぐために、推定小原越を切断し幅約25mの堀を構築していることから、小原越を戦時封鎖した可能性が考えられる。従来は大堀切を迂回して城の南端部を通過する道跡が中世以来の小原越と考えられていたが、廃城後にその道筋になった可能性が高いと考えられる。

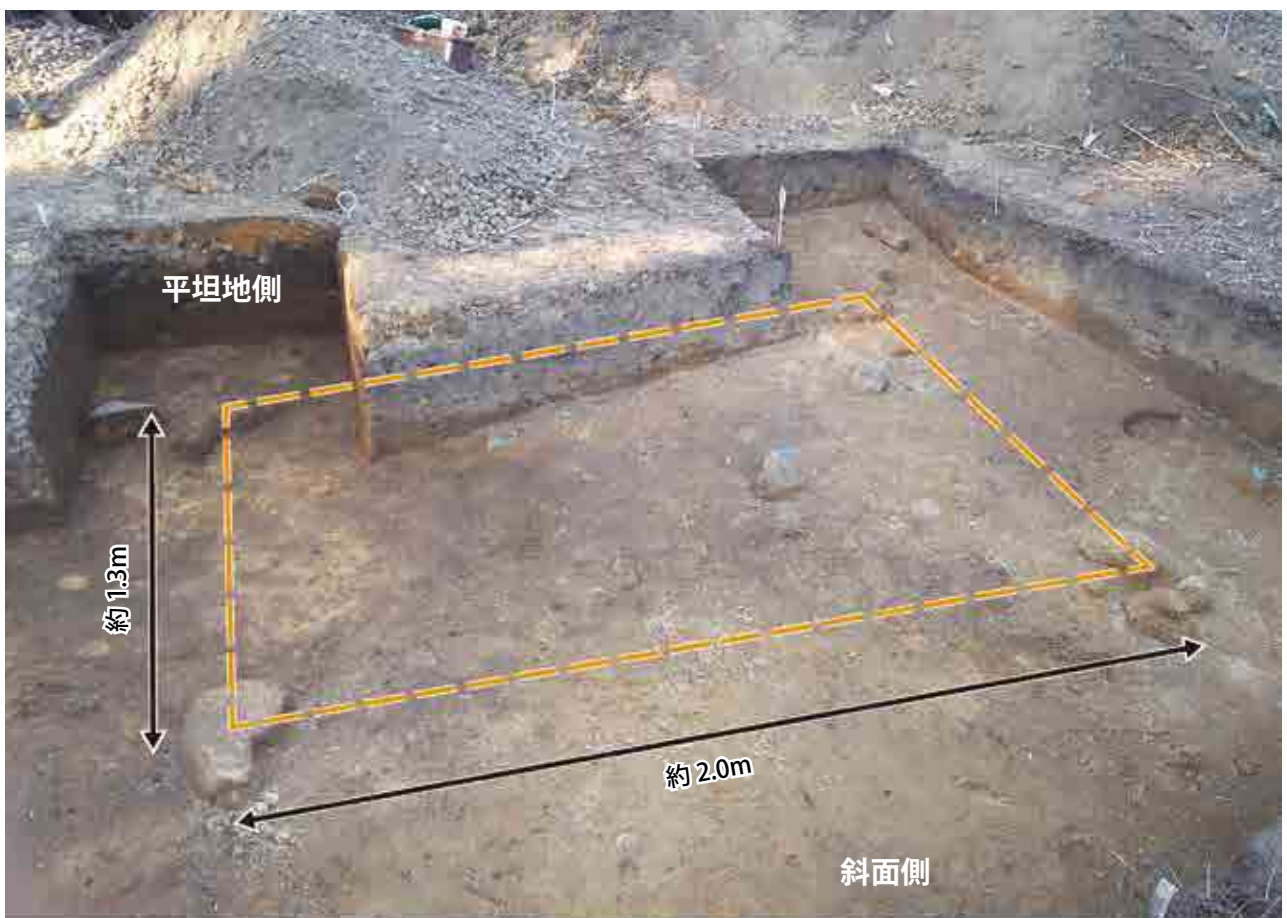
なお、測量調査に航空レーザ測量を採用しており、文化財への利用としては北陸で初めての実施である。この測量によって、新たな遺構を確認すると共に、広い範囲で周辺地形を把握することができると多くの成果があがった。



加越国境城郭群と古道の位置



松根城跡赤色立体地図（色編集）と発掘調査位置



Eトレンチ推定門跡礎石建物オルソ図と礎石写真



Kトレンチ大堀切内の畝状遺構立体像（上：斜め方向、下：横断面）



Nトレンチ大堀切に遮断される推定小原越跡検出状況

かなざわじょうかまち ひがしうちそうがまえあと かれきばしみなみちてん
C. 金沢城下町遺跡 (東内惣構跡 枯木橋南地点)

※史跡整備に伴う発掘調査

所在地：金沢市尾張町 1 丁目地内

北緯 36° 34' 14"

東経 136° 39' 50"

調査面積：10m²

種別：惣構跡

主な時代：近世

担当：前田 主任主事



■ 史跡の概要

惣構は、2代藩主・前田利長が高山右近に命じて造らせたといわれる、金沢城を囲む二重の堀および土居(土塁)である。内惣構は慶長4年(1599)、外惣構は慶長15年(1610)に造られたといわれ、内・外、東・西に分けて呼び慣わされている。枯木橋とは東内惣構に架けられた北国街道と城下を結ぶ橋で、交通・軍事上の要所であるため、門が設けられ、橋番人が置かれていた。枯木橋や東内惣構の堀は、現在も形を変えて利用されている。

橋場町交差点の北側では平成18年度に「枯木橋北地点」として発掘調査が行なわれ、平成20年度に惣構の遺構が復元整備された。このときの調査で、築造された当初の堀は素掘りで、3期にわたって堀を狭めていき、現在に至ることが判明した。

今回の調査は平成26年度の整備に向けた学術調査である。

発掘調査にあたり、現在の堀に対して直角になるよう幅約2mの調査区を2つ設け、1区は深さ約1.8mまで、2区は深さ約1.6mまで掘削したが、地山は現れなかった。1・2区ともに現代の堀に使われているものを含め、3列の石垣を検出した。石垣は現在の堀にほぼ平行し、石材のうち一部は、堀に面する側の表面に割り加工やはつり加工がみられた。

1区では地表下約0.4mのところ近代の整地面と礎石があり、地表下0.5mで石垣1が、石垣1の0.4m下で石垣2が現れた。

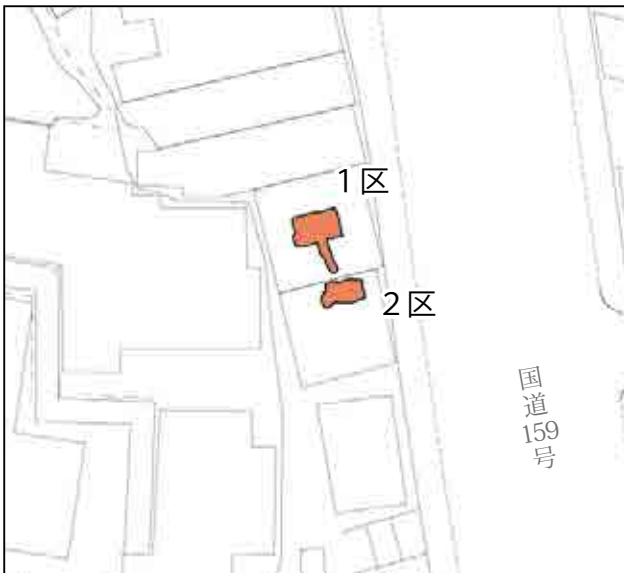
2区は地表下0.7mまで攪乱が及んでおり、攪乱の直下に石垣4が、石垣4の0.5m下に石垣5が近接して現れた。

それぞれの石垣の前面底、つまり堀の埋土と石垣の裏込土から出土した遺物を比較検討した結果、図のような変遷を想定した。石垣1の下位と石垣4の前面、堀の埋土から検出された遺物は17世紀半ば～後半のものであるので、それ以前に築造されたと考えられる。その後、堀が埋まるたびに石垣1を2回積み増しし、上流を石垣4から石垣5に更新する。18世紀末には石垣1を埋めて1.5m前面に石垣2を築き、おそらく近代になってから現在も残る石垣3に改めたのであろう。

枯木橋北地点で検出された素掘りの土手は、当地点では検出できなかったが、調査区外である東側から現在の道路との間がそうになっていた可能性はある。しかし延宝期城下絵図や石垣1と4に見るように、17世紀後半以降には堀は埋められ、埋め立て地は町家となっているようである。

また石垣1・4は内惣構ができてから間もない時期であり、低い位置で検出されたため、堀の斜面に築かれていたいわば護岸であって厳密には石垣といえない可能性がある。

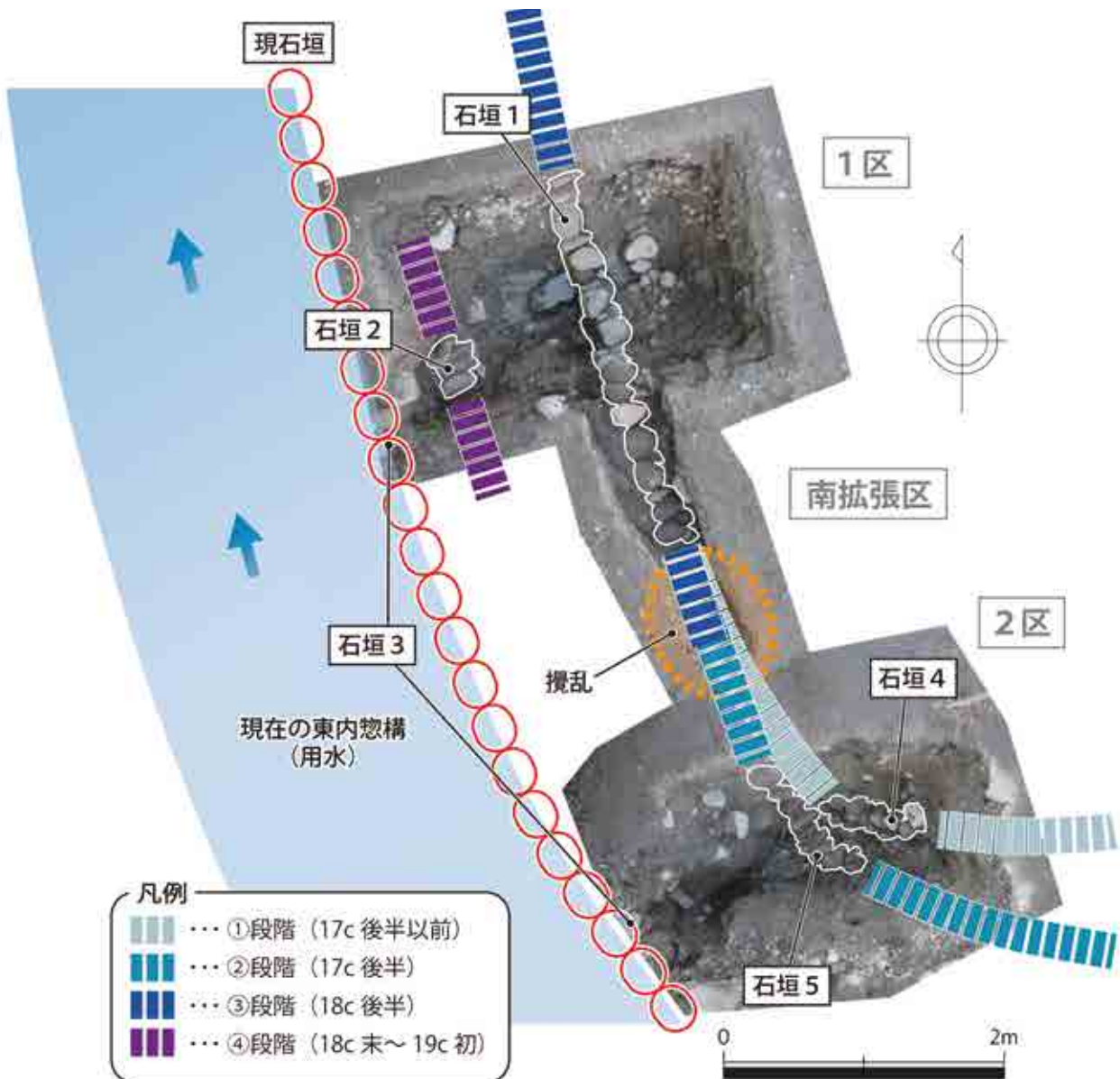
枯木橋北地点では、堀を完全には埋め立てずに地下室として利用しその上に町家を建てているが、枯木橋南地点ではそのような利用は見られず、家2軒の敷地として近年まで使用された。



調査区の位置



延宝期金沢城下図における調査地点
(1674年頃：石川県立図書館蔵)



東内惣構跡枯木橋南地点 石垣変遷図 (調査区オルソ画像)

D. ^{か が はん し ゆ ま え だ け ぼ し ょ}加賀藩主前田家墓所

※史跡整備に伴う発掘調査

所在地：金沢市野田町野田山内地内

北緯 36° 31' 45"

東経 136° 39' 57"

調査面積：20㎡

種別：大名家墓所

主な時代：近世

担当：^{やぐち}谷口 主査



■ 史跡の概要

加賀藩主前田家墓所は、江戸時代に加賀・能登・越中三カ国を領有した藩主家の墓所である(以下、「墓所」という)。金沢市の南東部、倉ヶ岳を主峰とする富樫山地の北東端に位置する野田山丘陵の北東斜面中腹に占地し、藩主居城である金沢城からは直線距離にして南に約 3.5km に位置する。墓所内には歴代藩主を中心に、藩主正室、生母、子女ら計 84 基の墳墓が造営されている。

藩主墓は土を方形に 3 段重ねた特徴的な形(方形 3 段築造)をしており、藩祖前田利家墓で一辺が約 19m、以降の藩主墓で一辺約 16m を測る。江戸時代は仏式葬であったが、藩主家が明治 7 年に神式葬へと転換したため、現在は墳墓の正面に鳥居が建てられている。

墓所の始まりは利家の実兄利久を天正 15 年(1587)に葬ったことと伝えられるが、歴代藩主墓所としての嚆矢は慶長 4 年(1599)に死去した利家の墳墓造営となる。その際、利家は遺言により自らその墳墓の地を野田山に指定した。以降、4 代光高・9 代重靖を除く歴代藩主は方形 3 段築造という特異な墳墓形式をもってこの地に埋葬され、墓所は近世大名家墓所として発展した。個々の墳墓の大きさ、墓所全体の面積ともに全国でも最大級の規模であり、加賀百万石の大名家墓所として堂々たる威容を誇っている。加えて、現在も祭祀行為が行われ続けている、まさに「生きた墓所」である点にも大きな特徴がある。

前田家墓所は織豊期から現代に至るまでの墓所の変遷をたどることができ、その規模の大きさと独特の墳墓形態も含め、日本を代表する大名家墓所の一つとして極めて高い文化財的価値を有していることから、平成 21 年 2 月 12 日に国の史跡に指定された。指定面積は 86,294.35㎡である。

金沢市では、平成 20 年度の国史跡指定を受け、翌 21 年度に保存管理計画を、同 22 年度に整備基本計画を策定した。これに基づき同 24 年度から史跡の本格整備に着手しており、史跡整備に先立つ遺構確認のための発掘調査を同 23 年度から実施している。

■ 既往の調査

- | | |
|----------|---|
| 平成 18 年度 | 加賀藩主前田家墓所詳細調査事業に伴う発掘調査
・藩祖利家墓・藩祖正室松墓間参道地点発掘調査
・伝利久墓堀地点発掘調査
・11 代藩主治脩墓堀地点発掘調査 |
| 平成 23 年度 | 加賀藩主前田家墓所史跡整備事業に伴う発掘調査
・千世墓石廟基礎地点発掘調査
・西階段地点発掘調査 |

■ 平成 24 年度の発掘調査

本年度は、平成 26 年度以降に整備を計画している参道部分について、近世段階の遺構確認を目的とした発掘調査を実施した。調査区は 10 代藩主重教墓前参道（調査区 1）と 5 代藩主綱紀前参道（調査区 2）の 2 箇所にて設けた。

○ 調査区 1

旧参道遺構の有無を確認する目的で現参道を横断する形で調査区を設定し、人力により表土を除去した後、遺構検出を行った。調査後は遺構養生措置を取ったのち、埋め戻した。調査の結果、現在の参道を敷設した際の造成層を確認したが、旧参道と思われる遺構の確認には至らなかった。現参道の敷設工事の際に旧参道遺構は破壊されているものと考えられる。また、調査区の北端では現参道の南側に築かれている土居の基礎と見られる集石を確認した。遺物の出土を見なかったため造成時期は不明であるが、集石の上に盛土するという土居の構造を把握することができた。さらに、調査区の北端では調査区北側に位置する喜機（10 代藩主側室）墓の堀の痕跡を確認し、堀の外側には土居の基礎の痕跡と見られる盛土及び集石が確認された。なお、堀内より土人形 1 点と 18 世紀後半代の磁器碗 1 点及び灯明皿 1 点が出土している。

○ 調査区 2

旧参道遺構の有無を確認する目的で現参道を横断する形で調査区を設定し、人力により表土を除去した後、遺構検出を行った。調査後は遺構養生措置を取ったのち、埋め戻した。調査の結果、現参道敷設時の造成層を確認したが、旧参道遺構の確認には至らなかった。調査区 1 と同様、現参道敷設工事時に旧参道遺構が破壊されたものと思われる。なお、調査区の北端では 4 代藩主光高夫妻墓造成時の盛土層を、南端では時期不明の礫廃棄土坑を確認している。

■ まとめ

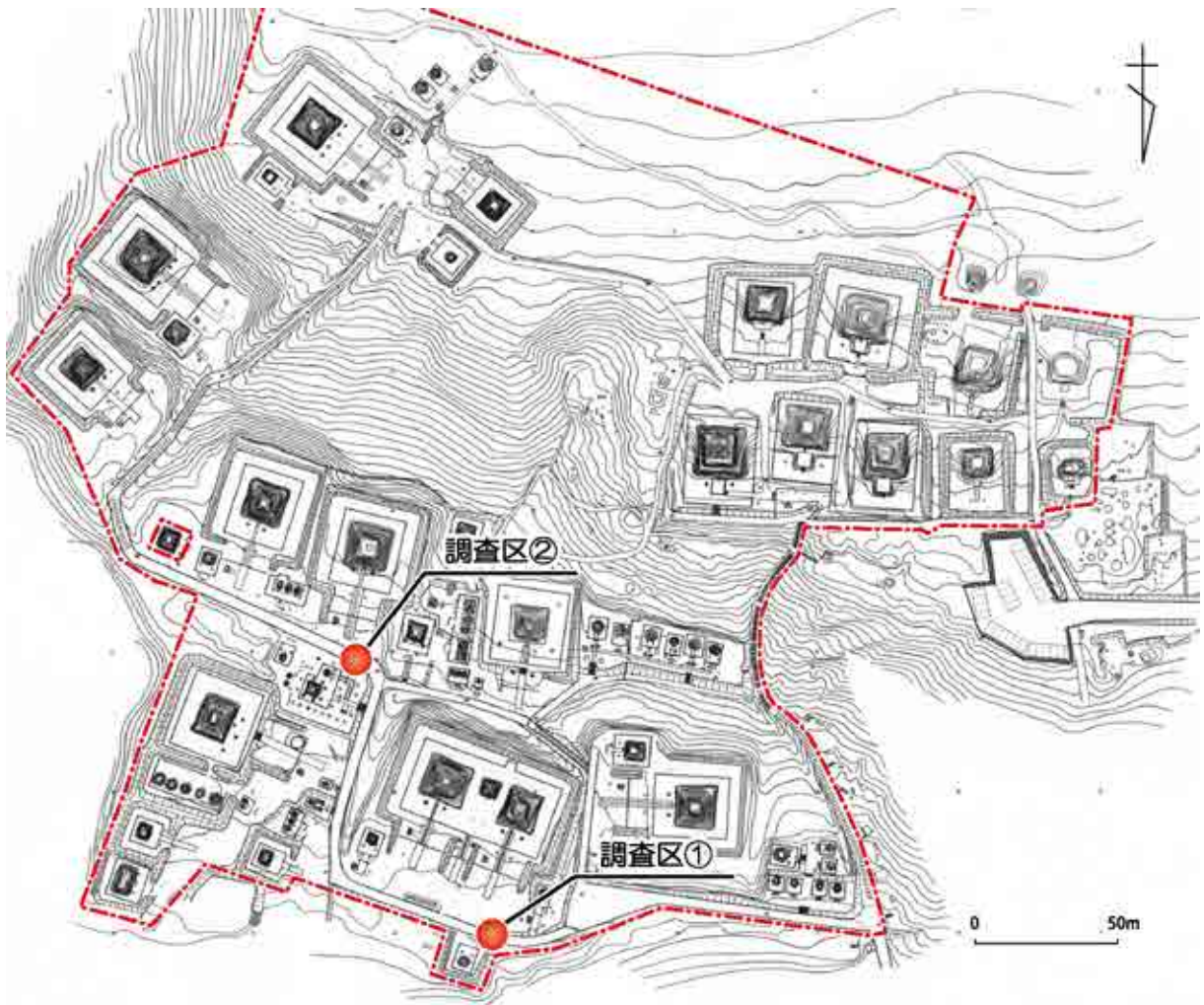
調査区 1・2 とともに現参道より以前の参道の遺構は確認されなかった。既述のとおり現参道敷設時に破壊されているものと思われる。また、調査区 1 の北端では参道に沿って位置する土居の構造を把握することができたほか、南端では土居の基礎の可能性のある盛土層が確認された。これらの調査結果は今後の史跡整備の内容に反映させる予定である。また、墓所の史跡整備は平成 31 年度までを予定しており、今後も必要に応じて各所において発掘調査を実施し、調査成果を整備内容に反映させていきたい。



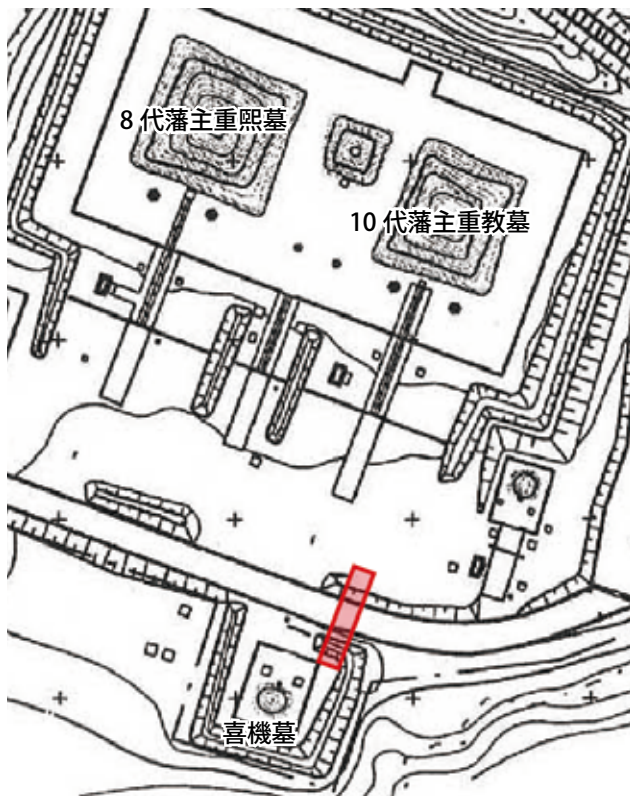
【調査区 1】 調査風景



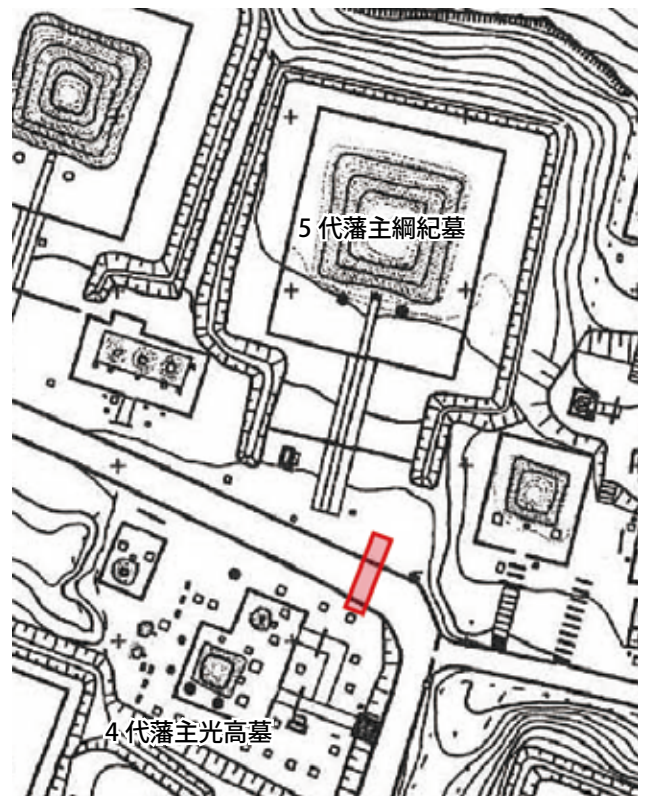
【調査区 2】 調査風景



調査区位置図



調査区 1 位置図



調査区 2 位置図



【調査区 1】調査前状況



【調査区 1】完掘状況① 土居の基礎



【調査区 1】完掘状況② 参道の造成層



【調査区 1】完掘状況③ 喜機墓堀跡



【調査区 2】完掘状況① 調査区南半



【調査区 2】完掘状況② 調査区北半

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 平成 24 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では公共事業に関する土木工事や建設工事及び民間の開発行為や農地転用の際に、事前に遺跡地図に基づく図面調査、実際の開発予定地における現地踏査、試掘確認調査等を実施し、埋蔵文化財の有無を確認している。

今年度は市施工の公共事業 8 件、民間の開発行為・農地転用 141 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、慎重工事及び工事立会での対応となったものは別表のとおりであった。

■ 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担当課	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	大友町地内	大友土地区画整理事業	市街地再生課	5月17日	1,200.00㎡	試掘	無	支障なし
2	橋場町地内	国道拡幅に伴う ガス・水道工事	企業局	9月30日	180.00㎡	試掘	無	協議要 (金沢城下町遺跡)
3	玉川町地内	玉川公園整備事業	緑と花の課	9月20日	1,600.00㎡	試掘	有	H25 発掘調査予定 (長氏屋敷跡)
4	米泉 10 丁目地内	道路整備事業	市街地再生課	2月12日	110,000.00㎡	試掘	無	支障なし (日本たばこ金沢工場遺跡)
5	広岡 3 丁目地内	再開発事業	企画調整課	1月30日	4,000.00㎡	試掘	無	支障なし
6	近岡町地内	道路改良事業	道路建設課	3月28日	280.00㎡	試掘	有	H25 発掘調査予定 (大友 E 遺跡)
7	磯部町地内	公園整備事業	緑と花の課	3月28日	400.00㎡	試掘	無	支障なし (沖町遺跡)
8	飛梅町地内	体育館新築事業	教育総務課	3月28日	600.00㎡	試掘	有	H25 発掘調査予定 (金沢城下町遺跡)

■ 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	高尾南 1 丁目 79,80	店舗建設	4月3日	4月17日	1,218.23㎡	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
2	笠舞 2 丁目 333	住宅建設	3月1日	4月25日	165.00㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 B 遺跡)
3	横山町 844,847	住宅建設	4月11日	4月17日	263.14㎡	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
4	高尾台 1 丁目 183,184	住宅建設	4月6日	4月25日	328.00㎡	試掘	無	支障なし (高尾天神堂遺跡)
5	上辰巳町 10-26-3	住宅建設	4月16日	4月25日	152.00㎡	試掘	無	支障なし (末古窯跡群)
6	森戸 1 丁目 210	住宅建設	3月5日	4月25日	290.51㎡	試掘	無	支障なし (森戸住宅遺跡)
7	横山町 665	住宅建設	4月11日	4月23日	178.51㎡	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
8	東兼六町 1-8 外	駐車場	1月26日	5月2日	260.28㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
9	北町乙 81	宅地造成	4月18日	4月25日	991.00㎡	試掘	無	支障なし (北町遺跡)

ID	場 所	行為の内容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
10	元菊町 212 外	宅地造成	4月16日	4月25日	5,000.00㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
11	松村 6 丁目 62-1 外	宅地造成	3月23日	5月1日	2,056.00㎡	試掘	無	支障なし
12	広岡 2 丁目 1210	店舗建設	2月15日	5月7日	4,870.00㎡	試掘	無	支障なし
13	泉野町 5 丁目	住宅建設	4月16日	5月1日	194.16㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
14	押野 3 丁目 595	住宅建設	4月20日	5月14日	288.8㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
15	割出町 54-1,37,38	保育園建設	4月18日	5月15日	3,039.00㎡	試掘	無	支障なし
16	畝田西 4 丁目 70	住宅建設	4月27日	5月15日	679㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
17	長坂 2 丁目 1305	住宅建設	4月25日	5月16日	517㎡	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
18	彦三町 1 丁目 6-51	住宅建設	4月27日	5月17日	94.44㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
19	古府 3 丁目 88	店舗建設	4月24日	5月15日	1,491.75㎡	試掘	無	支障なし (古府クルビ遺跡)
20	広岡 2 丁目 709	共同住宅	5月8日	5月17日	1,316.96㎡	試掘	無	支障なし
21	泉野町 5 丁目 154, 170-1	住宅建設	5月9日	5月17日	479.95㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
22	元菊町 63-1 外 3 筆	住宅建設	5月11日	5月21日	584.72㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
23	塚崎町ニ 4-2 外 3 筆	住宅建設	5月11日	5月18日	310.66㎡	試掘	無	支障なし (塚崎タカキ遺跡)
24	湊 4 丁目 60-1	事務所建設	5月11日	5月21日	2,321.49㎡	試掘	無	支障なし (戸水遺跡)
25	十一屋町 310	宅地分譲	5月14日	5月30日	1,775.92㎡	試掘	無	支障なし
26	みどり 1 丁目 128	住宅建設	5月21日	5月30日	203.81㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
27	松村 7 丁目 59-4	住宅建設	5月15日	5月30日	125.29㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
28	寺中町ホ 4	宅地造成	5月18日	5月30日	635.00㎡	試掘	無	支障なし (寺中遺跡)
29	笠舞 1 丁目 267	住宅建設	5月21日	5月30日	161.98㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 A 遺跡)
30	寺地 2 丁目 17-1	住宅建設	5月28日	6月6日	134.37㎡	試掘	無	支障なし (有松 C 遺跡)
31	吉原町ヨ 52	住宅建設	5月28日	6月6日	160.00㎡	試掘	無	支障なし (吉原法華堂古墳)
32	古府 3 丁目 147	住宅建設	5月28日	6月11日	142.30㎡	試掘	無	支障なし (古府 B 遺跡)
33	泉野町 5 丁目 185-2	住宅建設	6月8日	6月12日	107.63㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
34	藤江北 1 丁目 95-1	店舗建設	6月14日	6月26日	267.86㎡	試掘	無	支障なし (藤江 B 遺跡)
35	西念 3 丁目 2105,2106	土地売買	6月26日	7月3日	215.84㎡	試掘	無	支障なし (西念東遺跡)
36	押野 2 丁目 167	住宅建設	6月26日	7月3日	149.25㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)

ID	場 所	行 為 の 内 容	申 請 日	回 答 日	面 積	調 査 方 法	結 果	対 応
37	末町拾六字 93-1	住宅建設	7月2日	7月3日	499.55㎡	試掘	無	支障なし (未遺跡)
38	押野 3 丁目 527	住宅建設	6月21日	7月5日	162.81㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
39	彦三町 1 丁目 607	住宅建設	7月3日	7月20日	70.00㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
40	みどり 1 丁目 64	住宅建設	6月18日	7月20日	204.22㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
41	尾山町 11-1	社務所建替	5月23日	8月1日	998.05㎡	試掘	無	支障なし (金沢城跡)
42	彦三町 1 丁目 261	住宅建設	7月9日	7月23日	116.88㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
43	涌波 2 丁目 64	住宅建設	6月11日	7月23日	213.26㎡	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
44	上中町ト 13	宅地分譲	7月3日	7月23日	5,481.83㎡	試掘	無	支障なし
45	小将町 205,208	住宅建設	7月17日	7月23日	214.14㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
46	今町ワ 118	索道基地	7月13日	7月30日	8.53㎡	試掘	無	支障なし (今町僧ノ町遺跡)
47	小立野 2 丁目 23-1	店舗建設	7月12日	7月30日	1,144.84㎡	試掘	無	支障なし
48	森戸 1 丁目 198	住宅建設	7月10日	7月30日	178.62㎡	試掘	無	支障なし (森戸住宅遺跡)
49	黒田 1 丁目 84-2	住宅建設	7月5日	7月30日	132.20㎡	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
50	清川町 18-2	店舗建設	7月18日	8月7日	2,066.72㎡	試掘	無	支障なし
51	北塚町西 39-2,40	住宅建設	7月24日	8月7日	173.41㎡	試掘	無	支障なし (北塚 A 遺跡)
52	木曳野土地区画整理地 26 街区 13	住宅建設	7月26日	8月7日	198.00㎡	試掘	無	支障なし (寺中 B 遺跡)
53	北安江 3 丁目 301	売買	7月30日	8月7日	1,323.38㎡	試掘	無	支障なし (北安江遺跡)
54	高尾町ル 22	宅地造成	7月3日	8月7日	912.44㎡	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
55	白見町イ 2 外	農地造成	7月25日	8月14日	9,756.00㎡	試掘	無	支障なし
56	芳斉 1 丁目 1-27	住宅建設	8月7日	8月14日	919.18㎡	試掘	無	支障なし (長氏屋敷跡)
57	彦三町 1 丁目 5-12	住宅建設	7月25日	8月14日	145.25㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
58	松村 7 丁目 65-3	住宅建設	8月21日	8月23日	132.67㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
59	松村 7 丁目 65-5	住宅建設	8月21日	8月23日	130.19㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
60	本江町 393-1、,393-2	住宅建設	8月13日	8月24日	271.44㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
61	千木町カ 16	住宅建設	8月21日	8月24日	140.30㎡	試掘	無	支障なし (千木遺跡)
62	藤江南 1 丁目 68	住宅建設	8月22日	9月4日	138.19㎡	試掘	無	支障なし (藤江 A 遺跡)
63	金石北 3 丁目 54	工場建設	8月9日	9月4日	1,521.00㎡	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行為の内容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
64	三池町 234 外 4	宅地造成	8月28日	9月12日	4,555.76㎡	試掘	無	支障なし
65	押野 3 丁目 561 外 2	住宅建設	6月1日	9月12日	804.00㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
66	安江町 386・387	住宅建設	8月31日	9月28日	107.21㎡	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
67	南新保町へ 33-1	歯科医院	9月11日	9月28日	852.00㎡	試掘	無	支障なし (南新保 D 遺跡)
68	長坂 2 丁目 1306-3, 1307	住宅建設	8月3日	9月28日	334.00㎡	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
69	西念 3 丁目 2203	住宅建設	9月19日	9月28日	371.56㎡	試掘	無	支障なし (西念東遺跡)
70	彦三町 1 丁目 13-16	住宅建設	9月10日	9月28日	169.77㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
71	窪 5 丁目 273-1 外 2 筆	住宅建設	9月11日	10月18日	1,679.00㎡	試掘	無	支障なし
72	四十万 3 丁目 18,19	住宅建設	9月27日	10月18日	466.94㎡	試掘	無	支障なし (四十万 B 遺跡)
73	南森本町ニ 6-2 外 31 筆	店舗建設	9月19日	10月18日	17,471.87㎡	試掘	無	支障なし
74	古府町南 443	住宅建設	9月26日	10月18日	405.00㎡	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
75	小立野 3 丁目 444,454	店舗建設	9月26日	10月18日	1,076.91㎡	試掘	無	支障なし
76	西念 3 丁目 2204	住宅建設	9月24日	10月18日	104.04㎡	試掘	無	支障なし (西念東遺跡)
77	花里町 9-1	住宅建設	8月7日	10月18日	326.84㎡	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
78	無量寺 3 丁目 64,81	住宅建設	10月5日	10月18日	1,079.00㎡	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
79	笠舞 1 丁目 275	住宅建設	10月1日	10月18日	181.81㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 A 遺跡)
80	金石東 3 丁目 157	店舗建設	9月26日	10月23日	723.03㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
81	割出町 52-1	宅地分譲	10月17日	11月6日	1,215.49㎡	試掘	無	支障なし
82	米泉町 8 丁目 32-1	住宅建設	10月11日	11月6日	1,932.71㎡	試掘	無	支障なし
83	大野町 4 丁目ワ 23-1	宅地分譲	10月16日	11月6日	1,010.00㎡	試掘	無	支障なし
84	東長江町ぬ 29-1 外 4 筆	幼稚園施設	10月16日	11月6日	2,099.3㎡	試掘	無	支障なし
85	諸江町下丁 110-1	宅地分譲	10月26日	11月6日	1,044.00㎡	試掘	無	支障なし
86	畝田西 3 丁目 88	住宅建設	9月13日	11月6日	93.87㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
87	兼六元町 104	住宅建設	10月23日	11月6日	96.38㎡	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
88	西金沢 3 丁目 629～ 638	住宅建設	10月26日	11月26日	2,478.00㎡	試掘	無	支障なし
89	松島 3 丁目 206,207	住宅建設	9月14日	11月26日	1,304.00㎡	試掘	無	支障なし
90	寺地 2 丁目 27,28,29	住宅建設	11月5日	11月19日	690.00㎡	試掘	無	支障なし (有松 C 遺跡)

ID	場 所	行為の内容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
91	西泉 2 丁目 1	病院建設	11 月 1 日	11 月 30 日	1,107.00㎡	試掘	無	支障なし
92	西泉 5 丁目 101-1, 102-1	宅地分譲	11 月 7 日	11 月 30 日	1,064.00㎡	試掘	無	支障なし
93	笠舞 2 丁目 349	住宅建設	11 月 7 日	11 月 30 日	113.78㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 B 遺跡)
94	御影町 293-3	駐車場	11 月 13 日	11 月 30 日	2,049.70㎡	試掘	無	支障なし
95	福久町チ 14 外 6 筆	店舗建設	10 月 9 日	11 月 30 日	3,249.00㎡	試掘	無	支障なし
96	藤江南 1 丁目 33	住宅建設	11 月 22 日	11 月 30 日	2,761.56㎡	試掘	無	支障なし
97	八日市 1 丁目 273,274	宅地分譲	11 月 27 日	12 月 12 日	1,343.23㎡	試掘	無	支障なし
98	松村 7 丁目 33-12	住宅建設	11 月 30 日	12 月 4 日	132.23㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
99	梅田町イ 8-1	住宅建設	11 月 29 日	12 月 12 日	366.00㎡	試掘	有	協議要 (梅田 B 遺跡)
100	釣部町オ 10-4 外 42 筆	岩石採取	11 月 29 日	12 月 12 日	71,557.00㎡	試掘	無	支障なし (釣部岩跡)
101	未町地内	区画整理	10 月 12 日	12 月 28 日	8.1ha	試掘	無	支障なし
102	高尾台 1 丁目 236	住宅建設	12 月 6 日	12 月 12 日	198.00㎡	試掘	無	支障なし (高尾天神堂遺跡)
103	米泉町 7 丁目 48-1, 48-2	住宅建設	10 月 31 日	12 月 12 日	1,078.06㎡	試掘	無	支障なし
104	堀切町ト 30 外 14 筆	農地造成	12 月 3 日	12 月 27 日	4,800.00㎡	踏査	無	支障なし
105	宮野町 5 字 19 外 6 筆	農地造成	12 月 3 日	12 月 27 日	7,440.00㎡	踏査	無	支障なし
106	新神田 2 丁目 259 ~ 262	店舗建設	12 月 13 日	12 月 27 日	1,060.00㎡	試掘	無	支障なし
107	安江町 4-11	住宅建設	12 月 12 日	12 月 27 日	165.17㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
108	大野町 4 丁目ワ 44 外 4 筆	住宅建設	12 月 28 日	1 月 25 日	1,579.98㎡	試掘	無	支障なし
109	片町 1 丁目 1-1	共同住宅	12 月 11 日	1 月 28 日	500.00㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
110	山科 1 丁目 379-3	売買	12 月 12 日	1 月 28 日	797.22㎡	試掘	無	支障なし (山科かわらば遺跡)
111	寺地 2 丁目 45	住宅建設	1 月 17 日	1 月 25 日	308.00㎡	試掘	無	支障なし (有松 C 遺跡)
112	高柳町ニ字 49-1 外 16 筆	宅地造成	1 月 18 日	1 月 30 日	10,500.00㎡	試掘	無	支障なし
113	北町乙 84,85-1	共同住宅	1 月 11 日	1 月 31 日	972.00㎡	試掘	無	支障なし (北町遺跡)
114	兼六元町 539,540	住宅建設	12 月 25 日	1 月 28 日	119.23㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
115	額乙丸町口 259 外 5 筆	共同住宅	1 月 17 日	1 月 31 日	1,352.00㎡	試掘	無	支障なし
116	瓢箪町 684,685	住宅建設	1 月 24 日	1 月 31 日	133.15㎡	試掘	無	支障なし (瓢箪町遺跡)
117	若松町 3 丁目 116	共同住宅	1 月 16 日	2 月 8 日	1,552.32㎡	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行為の内容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
118	平和町 1 丁目 2-2 外	老人ホーム建設	1 月 23 日	2 月 8 日	4,427.43㎡	試掘	無	支障なし
119	諸江町中丁 327-1 外	診療所建設	1 月 25 日	2 月 8 日	1,840.31㎡	試掘	無	支障なし
120	小立野 1 丁目 151	住宅建設	2 月 4 日	2 月 8 日	181.81㎡	試掘	無	支障なし (小立野射撃場遺跡)
121	御影町 292-28	宅地造成	2 月 6 日	2 月 7 日	1,931.09㎡	試掘	無	支障なし
122	御影町 324 外 3 筆	宅地造成	2 月 6 日	2 月 7 日	1,140.17㎡	試掘	無	支障なし
123	米泉町 4 丁目 1-5 外 3 筆	住宅建設	1 月 8 日	2 月 22 日	2,979.03㎡	試掘	無	支障なし
124	高岡町 223-1 外 3 筆	住宅建設	1 月 24 日	2 月 22 日	147.03㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
125	大和町 104,105	住宅建設	2 月 8 日	2 月 22 日	1,067.83㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
126	大手町 50	住宅建設	2 月 14 日	2 月 22 日	57.19㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
127	藤江南 1 丁目 91 外 2 筆	共同住宅建設	2 月 14 日	2 月 27 日	1,224.12㎡	試掘	無	支障なし (藤江 A 遺跡)
128	金石本町ハ 39-1,39-3	宅地造成	2 月 19 日	2 月 27 日	895.00㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
129	金石東 3 丁目 185	店舗建設	2 月 19 日	2 月 27 日	2,567.87㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
130	無量寺町ニ 12-1	葬儀場建設	2 月 18 日	3 月 4 日	4,959.88㎡	試掘	無	支障なし
131	泉野町 4 丁目 4-3	保育園建設	2 月 15 日	3 月 12 日	1,705.13㎡	試掘	無	支障なし
132	稚日野町 91-2 外	店舗建設	2 月 15 日	3 月 12 日	1,084.69㎡	試掘	無	支障なし (北塚 B 遺跡)
133	丸の内 45,46	売買	2 月 18 日	3 月 12 日	270.3㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
134	金石本町ハ 37-1	農地転用	3 月 5 日	3 月 12 日	795.00㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
135	今町ワ 20-1	宅地分譲	10 月 23 日	3 月 22 日	2,151.98㎡	試掘	無	支障なし (今町御所野遺跡)
136	下石引町 1-1	病院建設	3 月 12 日	3 月 22 日	800.00㎡	試掘	無	支障なし (奥村氏(宗家)屋敷跡)
137	大手町 13-18	住宅建設	3 月 15 日	3 月 22 日	214.87㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
138	北塚町西 39-1	住宅建設	3 月 18 日	3 月 22 日	608.75㎡	試掘	無	支障なし (北塚 A 遺跡)
139	割出町 436-2	保育園建設	2 月 21 日	3 月 28 日	1,167.00㎡	試掘	無	支障なし
140	畝田中 2 丁目 224	住宅建設	1 月 15 日	3 月 29 日	341.34㎡	試掘	無	支障なし (畝田御台場跡)
141	清水町地内	管理用道路築造	5 月 11 日	3 月 29 日	160.00㎡	試掘	無	支障なし (清水大渡北丁場跡)

■ (別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
1	93条(届)	木曳野土地区画整理 26街区19番	個人住宅建設	4月2日	4月5日	215.00㎡	寺中B遺跡	慎重工事
2	93条(届)	戸板第二土地区画整理 64街区8番1	個人住宅建設	4月2日	4月5日	179.00㎡	桜田・示野中遺跡	慎重工事
3	93条(届)	戸板第二土地区画整理 63街区2番	個人住宅建設	4月2日	4月5日	150.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
4	93条(届)	戸板第二土地区画整理 56街区7番 外7筆	共同住宅建設	4月2日	4月17日	950.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
5	93条(届)	田上第五土地区画整理 1街区15番	保育園建設	4月3日	4月5日	1,337.00㎡	若松遺跡	工事立会
6	93条(届)	上安原1丁目169番	個人住宅建設	4月10日	4月17日	174.35㎡	上安原遺跡	工事立会
7	93条(届)	千田町口71-4,72-4	個人住宅建設	4月23日	4月26日	308.88㎡	千田遺跡	慎重工事
8	93条(届)	木曳野土地区画整理 40街区13番	個人住宅建設	5月24日	6月4日	189.00㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
9	93条(届)	戸板第二土地区画整理 63街区4番	個人住宅建設	5月30日	6月8日	216.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
10	93条(届)	戸板第二土地区画整理 28街区1番 外3筆	診療所建設	6月4日	6月12日	1,109.00㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
11	93条(届)	田上第五土地区画整理 13街区5番	個人住宅建設	6月4日	6月12日	170.47㎡	田上北遺跡	慎重工事
12	93条(届)	戸板第二と樋区画整理 56街区4番 外3筆	共同住宅建設	6月14日	6月21日	380.11㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
13	93条(届)	清水町地内	管理道路改修	6月30日	7月2日	560.00㎡	清水大渡北丁場跡	発掘調査
14	93条(届)	木曳野土地区画整理 47街区1番1	個人住宅建設	7月10日	7月17日	231.00㎡	桂町南遺跡	工事立会
15	93条(届)	木曳野土地区画整理 26街区15番 外2筆	個人住宅建設	7月10日	7月26日	456.00㎡	寺中B遺跡	工事立会
16	93条(届)	田上第五土地区画整理 12街区7番1	個人住宅建設	8月10日	8月22日	181.82㎡	田上北遺跡	慎重工事
17	93条(届)	戸板第二土地区画整理 61街区1番 外2筆	個人住宅建設	8月21日	9月26日	455.00㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
18	94条(通知)	大手町、橋場町地内	ガス管・下水管 新設工事	8月21日	9月26日	1,600.00㎡	金沢城下町遺跡	工事立会 (県試掘調査)
19	93条(届)	安江町386番,387番	個人住宅建設	9月24日	10月10日	114.63㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
20	93条(届)	戸板第二土地区画整理 63街区14番	個人住宅建設	9月25日	10月10日	161.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
21	93条(届)	戸板第二土地区画整理 61街区17番	個人住宅建設	10月16日	10月26日	333.00㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
22	93条(届)	上安原1丁目160番	個人住宅建設	10月18日	10月26日	175.00㎡	上安原遺跡	工事立会
23	93条(届)	木曳野土地区画整理 26街区8番	個人住宅建設	10月30日	11月12日	200.00㎡	寺中B遺跡	工事立会
24	93条(届)	戸板第二土地区画整理 63街区16番	個人住宅建設	11月1日	11月12日	161.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
25	93条(届)	田上第五土地区画整理 12街区7番2	個人住宅建設	12月12日	12月17日	185.00㎡	田上北遺跡	慎重工事
26	93条(届)	尾山町11番1	井戸工事	12月14日	12月17日	7.50㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
27	93条(届)	木曳野土地区画整理 47街区10番	個人住宅建設	1月9日	1月21日	183.00㎡	桂町南遺跡	工事立会
28	93条(届)	田上第五土地区画整理 9街区2番	個人住宅建設	1月9日	1月21日	216.00㎡	田上東遺跡	工事立会
29	93条(届)	尾張町2丁目349番	個人住宅建設	1月21日	1月31日	154.87㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
30	93条(届)	田上第五土地区画整理 1街区17番	個人住宅建設	1月30日	2月6日	240.00㎡	若松遺跡	工事立会
31	93条(届)	木曳野土地区画整理 52街区9番	個人住宅建設	1月30日	2月12日	170.00㎡	桂町南遺跡	工事立会
32	93条(届)	木曳野土地区画整理 29街区5番,6番	共同住宅建設	3月8日	3月19日	374.00㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
33	93条(届)	田上第五土地区画整理 24街区10番2	個人住宅建設	3月12日	3月19日	216.00㎡	田上東遺跡	慎重工事
34	93条(届)	下石引町1番1	落石防止工事	3月19日	3月27日	150.00㎡	奥村氏(宗家)屋敷跡	慎重工事

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成12年度より職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について児童に直接講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。近年、小学校では総合学習の時間を利用し、体験活動を通して郷土の歴史を学ぶ機会が増加しているが、そういった教育の場で当センターがこれまで培ってきた市内における発掘調査の成果を利用した「古代体験」の場を積極的に提供することで、郷土の歴史への愛着と埋蔵文化財への理解を深めてもらうことがこの事業の目的である。

「歴史ふれあい講座」は基本的に小学校6年生を対象とし、年度当初の4～5月を開催時期として設定している。これは、この時期が歴史学習の導入時期に当たり、実際に市内各所から出土した土器や石器の実物に触れることで、歴史を肌で感じることができ、これから始まる歴史学習に興味を持つ機会を創出できるとの考えからである。また、昨年度からは、事前に担当職員が学校を訪問し、授業の進捗状況、先生方からの要望を調査することで、各小学校の授業の進捗に沿った講座内容にするべく努めている。事業初年度こそ参加校は8校であったが、近年では市内小学校数の過半数に当たる40校以上の申し込みが寄せられている。しかしながら、各小学校からの開催希望日が重複し、申し込みを断念するケースがあり、全ての申し込みに応えられていないのが現状である。

講座内では貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文～古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りの体験がある。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1講座100分を所要する。

平成22年度からは金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は4月18日の額小学校から始まり、5月30日の中村町小学校に終わる33校で開催した。うち18校が火起こしを、13校が勾玉作りを、2校は勾玉作りも火起こしも行わない短時間のコースを行った。参加児童数は2,214名、平成12年度からの累計では2万人を突破し、20,937人となった。今後も講座内容の積極的な見直し、改善を行い、より多くの児童に歴史に興味を持つ機会を提供できればと考えている。

〈過去5年間の事業実績〉

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成20年度	28	62	2,063
平成21年度	20	46	1,520
平成22年度	27	57	1,947
平成23年度	32	71	2,341
平成24年度	33	66	2,214



火起こし体験



クルミ割り体験

(2) 金沢子ども歴史探検隊

当センターでは平成15年度より、将来を担う子どもたちを対象にさらなる歴史体感の場として、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢子ども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今回は、「金沢市歴史遺産探訪月間」の開催にあわせ、復元工事の進む国史跡「金沢城跡」を会場として、加賀藩や金沢城の歴史を題材としたクイズラリーを行った。

クイズの内容は小学校低学年用と高学年用の2種類を用意した。あらかじめ配った金沢城跡の見取図に記載されたクイズの配置場所を探し出し、それに答えていくというものである。成績上位者を「金沢城博士」として認定し、後日認定証を送付した。クイズ形式とすることで普段見過ごしてしまう細部についても十分に観察できたとみえて、「お城ってすごい」という声があちらこちらで聞かれた。実際に史跡に触れてみることで、ふるさとの歴史により一層の親しみをもってくれたようである。

《過去5回の事業実績》

第11回 「めざせ金沢城博士!!」 Vol.3

開催日：平成24年10月27日（土）

内 容：金沢城跡でのクイズラリー

参加者：小学生および保護者 65名

実施年度	回数	タイトル
平成19年度	7	「めざせ金沢城博士!!」
平成20年度	8	「めざせ金沢城博士!!」 Vol.2
平成21年度	9	「加賀藩主前田家墓所探検」
平成23年度	10	「集え!! 未来の考古学者たち!!」
平成24年度	11	「めざせ金沢城博士!!」 Vol.3



会場の様子



クイズラリー状況



クイズラリー状況



クイズラリー状況

(3) 市民ふるさと歴史研究会

当センターでは、一般市民を対象に埋蔵文化財に対する理解と愛護精神の醸成を目的として、発掘調査や学術詳細調査の成果を解説する講座「市民ふるさと歴史研究会」を平成16年度より開催している。

今回の内容は、金沢市が平成13年度から4ヶ年次にわたって発掘調査を実施した縄文時代晩期の遺跡「中屋サワ遺跡」について、出土品が金沢市指定文化財に指定されたことを記念する特別公開にあわせて、縄文時代研究の第一線で活躍されている岡村道雄氏を招いての記念講演を行った。実際の調査に携わった担当者による当時の発掘調査の成果報告も行った。

参加者は説明・講演ともに熱心に聞き入っており、縄文時代の技術の高さを感じてもらえたようである。近世だけではない金沢の歴史について、これからも強力に発信していくことが望まれる。

第13回 「縄文の技と美～金沢市指定文化財中屋サワ遺跡の出土品特別公開～」

会場：金沢市埋蔵文化財センター 映像学習室・整理室

開催日：平成24年11月10日（土）

内容：講演「中屋サワの魅力ーうるし・ヤシの実・ヒスイー」

報告「中屋サワ遺跡の発掘調査」
 岡村道雄氏（奈良文化財研究所名誉研究員）
 たにぐち 谷口主査（金沢市文化財保護課）

参加者：50人

《過去5年間の事業実績》

実施年度	回数	タイトル	対象となった遺跡・史跡等
平成20年度	9	水辺に暮らす縄文人	中屋サワ遺跡
平成21年度	10	加賀八家本多家の歴史と上屋敷周辺の発掘報告	本多氏屋敷跡
平成22年度	11	玉づくりから見る金沢の古墳時代	出雲じいさま遺跡 ほか
平成23年度	12	加賀八家墓所からみる近世の社会	加賀八家墓所
平成24年度	13	縄文の技と美 ～金沢市指定文化財中屋サワ遺跡の出土品特別公開～	中屋サワ遺跡



講演：岡村道雄氏



出土遺物の特別公開

(4) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらうことを目的に各種イベントを開催、これらを通じて文化財愛護の精神を培う機会の創出を目的としている。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下の通りである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。今年度は雨天のため、三和公民館を会場に行われた。

実施日：平成24年7月21日（土）

主な内容：古代衣裳試着体験 古代食試食体験
火起こし体験 勾玉作り 土器作り
繭糸取り体験 土器・パネル展示等

参加者：約120名

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



古代衣裳試着体験（史跡フェスタみわ）

【チカモリ学習会】

チカモリ縄文まつりの一環として、地域の方々にチカモリ遺跡および縄文時代の生活について理解を深めてもらうため、下記のとおり学習会を開催した。

実施日：平成24年7月21日（土）

主な内容：「チカモリ遺跡の環状木柱列は
いつ建てられたのか」

講師：向井主任主事

参加者：約40名



勾玉作り体験（チカモリ縄文まつり）

【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：平成24年8月5日（日）

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り
縄文食試食体験 クルミ割り体験
貫頭衣試着体験 ハンターゲーム等

参加者：約300名

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



土器作り体験（チカモリ縄文まつり）

(5) 現地説明会

発掘調査の成果を市民に還元する方法の一つとして、発掘調査現地説明会がある。実際に発掘調査を行っている現場を直に見学する現地説明会は、埋蔵文化財を身近に感じることのできる最良の方法の一つである。

今年度は、大友E遺跡（大友遺跡群）、松根城跡の2カ所において現地説明会を開催した。開催概要は下表のとおりである。うち松根城跡については、金沢市が市民に対して文化財に気軽に触れる機会を提供することを目的として平成19年度から開催している「金沢市歴史遺産探訪月間」の一環として実施したものである。「加越国境城郭群と古道」の調査を共同で行っている富山県小矢部市のイベント「小原越ウォーキング」と連携し、小矢部市からの参加者も迎えて行った。

各遺跡の概要については、本書1の(3)および(4)を参照してほしい。

《現地説明会一覧》

遺跡名	場 所	開催日	対象	参加者数
大友E遺跡 (大友遺跡群)	金沢市大友町・近岡町地内	平成24年9月17日	一般市民	約110名
松根城跡	金沢市松根町・竹又町地内	平成24年11月3日	一般市民	約80名



大友遺跡群：遺物の解説



大友遺跡群：遺構の解説

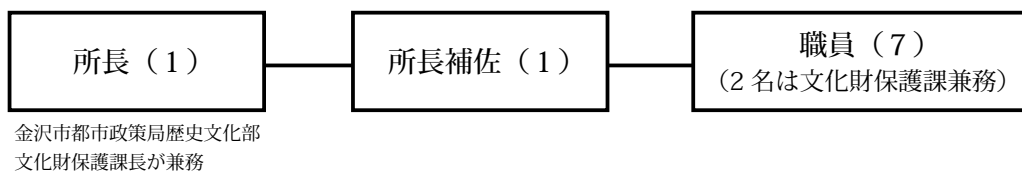


松根城跡：遺構の解説



松根城跡：遺構の解説

4. 組織



平成 24 年度
金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 25 年 3 月 29 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

